

大団円

～校長室より～



○教壇の奥に世界が広がって
同じ能力であれば、家庭の状況が厳

道徳によるしつけがなされてい
子どもは物事を善悪でなく好き嫌いで
判断してしまう。やらないこと、やっ
てはいけないことの今の子どもは判断
基準は自分が不利になることだけであ
る。

○「久玉っ子」をどのように
育てたいのか…
親としての処世訓
○どのような知識も技能も体力も道徳
性に裏付けられて初めて意味を持っ

しい方が子どもが努力する度合いは高
くなる。負ける練習、恥をさらす訓練
もこのときにさせておくことである。人
間の身体は使ったところが強くなる。人
将来のために、忍耐力、回復力の旺盛
な人間に育ててやることである。
(川上清司氏の文章から抜粋)

以前読んだ、ある雑誌に載っていた
文章です。厳しいと思われる部分もあ
るでしょうが、子どもの将来を考えた
とき、確かにうなずけることです。
子どもが「自立」できよう、子育
てのあり方として心得ておくよう、子育
てを教えます。子どもが失敗しない
ように、つまずかないようにと、何事
も平らにしてやるのは簡単なことであ
るが、それはもしかしたら子どものため
にならないのかも…と、立ち止まっ

て考えることも必要かもしれませ
ん。これから先、「久玉っ子」が立ち向か
う壁が次第に高く「厚くなり」な
るときでも、その折々に簡単にあきらめ
ない、何とか自力で、あるいは誰かの
力を借りてでも解決しよう。乗り越え
ようと、しぶとく生き抜いていくこと
ができるよう育てたいものだと思います。

中にはあまり苦勞や我慢もせず、自
分の持っている力で順調に伸びていく子ど
ももいるでしょうが、ちよつと手を伸
ばせば苦勞(達成できる)
(我慢・負荷)を
経験させることが
子どもの成長に
つながるのでは
ないでしょうか。

今日は本田校長先生が教員になって13483日目
そして、平成28年3月31日は13513日目

くたまたがみついたあつ!

学校アンケート、お世話になっています。今、集計中ですが、
あたたかい言葉をたくさんいただいています。ありがとうございます。

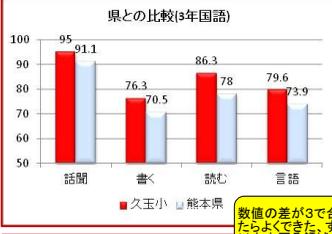
子どもたちだけの約束(休みの日に遊ぶ約束)昼食を
人の家で食べて親は知らないのか、何も親はお礼を言わ
ないあいさつしない。親同士のやり取りがある場合はいい
と思います。子どもたちだけの約束で朝から夕方まで遊ぶ
のはどうかと思います。(似たコメントをいくつかいただきました。
大切なことです。このことはみんな考えてみましょう。
もちろん、子どもさんには早速話してください。JBV教頭)

この1年間大変お世話になりました。ありがとうございます。
今年はいろんな場面で新たな試みがあり、工夫され、
何をとも充実した意味のあるものになりました。たとえ
ば持久走大会で思いっきりコース変更されたところ、先生
方の面白いパフォーマンスがあったところ。運動会で新し
い種目を取り入れたところ。たくさんの感動を見せてくれた
運動会。地域と密着し、いろいろな行事で連携をとり、豊かな
授業を作り上げたところ。子どもたちの日に日に成長してい
く姿が輝いて見えた1年でした。

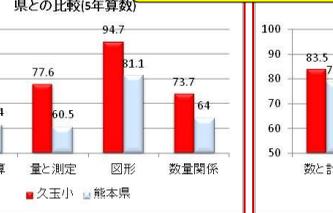
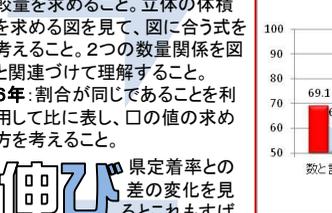
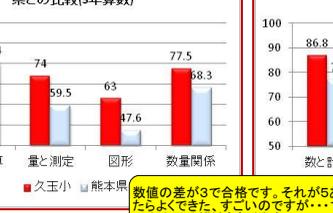
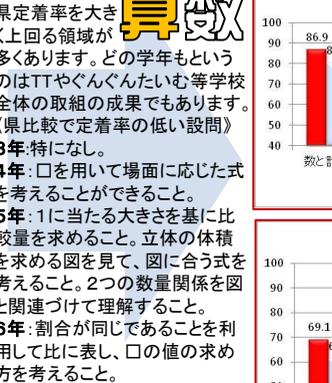
我が子どもですけど自分からあいさつをする子どもたちが
少ないです。中には休日自転車に乗るときヘルメットをか
ぶらずに乗ってる子がいます。学校の方でも指導をもう少し
してもらいたいです。

久玉っ子の学力を県 学力調査から考える

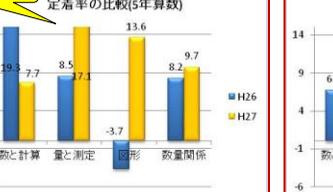
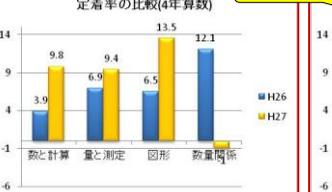
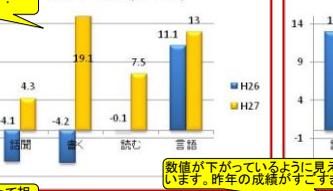
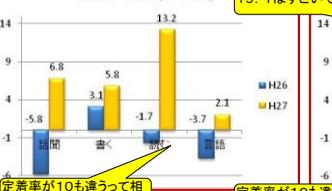
12月実施の県学力調査の結果です。これを、県の定着率との
比較で見ます。どの学年も県の定着率をほぼ上回っています。
大きく上回っている領域もあります。これはたいへんすごいこ
とです。なお、学年別の成績の提示は比較にもなるため、なか
なか掲載しにくいのですが、それができるのはすべての学年で、
結果が出ているからです。



国語 県との比較で、定着率が「プラス3」で十分合格です。それなのに、5以上、
なかには10以上上回っている領域もあり、子どもたちの頑張りがかがえます。
《県比較で定着率の低い設問》
3年:カタカナの「っひらがなの「ッ」を辞書に出でくる順番で並べること。
4年:3年で学習した「仕」を「つかえる」と読むこと。4年で学習した「種類」を正しく書くこと。
5年:登場人物の心情や場面の様子について感じたことをまとめること。
6年:特になし。



算数 県定着率を大きく上回る領域が多
くあります。どの学年もという
のはTTやぐんぐんたいむ等学校
全体の取組の成果でもあります。
《県比較で定着率の低い設問》
3年:特になし。
4年:口を用いて場面に応じた式
を考えることができること。
5年:1に当たる大きさを基に比
較量を求めること。立体の体積
を求める図を見て、図に合う式を
考えること。2つの数量関係を図
と関連づけて理解すること。
6年:割合が同じであることを利用
して比に表し、口の値の求め方
を考えること。



もちろん、ここに提示した学力は全体としての定着のバロメータですが、子どもた
ち一人一人を見ると、その課題はそれぞれです。私たちは、これからも、子どもたち
一人一人が持っている力を十分発揮でき、もっと成長していける学校作りを目指しま
す。「まだやれるね」「すごいね」「もっとがんばる姿を見せて」「ずっと応援して
るよ」保護者の皆様のポジティブ言葉シャワーで、久玉っ子はもっと成長できます。



【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに

平成28年3月1日
第39号

天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長 本田勝則

